

地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会  
第4回長期確率評価手法検討分科会（第二期）  
議事要旨（案）

1. 日 時 令和6年11月20日（水）10時00分～11時55分
2. 場 所 研究開発局会議室2及びウェブ会議のハイブリッド形式による開催
3. 議 題 (1) 長期確率評価手法について  
(2) その他
4. 配付資料  
長手Ⅱ4(1) 第273回長期評価部会・第94回海溝型分科会（第二期）・第3回長期確率評価手法検討分科会（第二期）議事要旨（案）  
長手Ⅱ4(2) 隆起量の確率分布計算条件  
長手Ⅱ4(3) 事前分布の設計（寺田委員資料）  
  
参考資料1 [choshu2]メーリングリストにおける議論
5. 出席者  
主査 佐竹 健治 国立大学法人東京大学名誉教授  
委員 汐見 勝彦 国立研究開発法人防災科学技術研究所地震津波防災研究部門副部門長  
寺田 吉壱 国立大学法人大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻准教授  
野村 俊一 早稲田大学商学大学院会計研究科准教授  
林 豊 気象庁気象研究所地震津波研究部第四研究室長  
宮澤 理稔 国立大学法人京都大学防災研究所教授  
委員長 平田 直 国立大学法人東京大学名誉教授  
  
事務局 上野 寛 文部科学省研究開発局地震火山防災研究課地震調査管理官  
岡 岳宏 気象庁地震火山部管理課地震調査連絡係長  
清水 淳平 気象庁地震火山部地震火山技術・調査課調査官  
都筑三千夫 国土地理院測地観測センター火山情報活用推進官
6. 議 事  
(1) 第273回長期評価部会・第94回海溝型分科会（第二期）・第3回長期確率評価手法検討分科会（第二期）議事要旨（案）のうち、長期確率評価手法検討分科会（第二期）の議事に関する箇所を承認した。  
(2) 寺田委員より「事前分布の設計」について説明があり、議論した。  
(3) 事務局より報告書「長期的な地震発生確率の評価手法について」の改訂方針について説明があった。